

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回中川警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年3月5日（火） 午後2時10分から午後3時までの間 ----- 中川警察署 講堂
出 席 者	1 委員 堀田 一 会長 木全 亜梨沙 委員 熊澤 美保子 委員 鈴木 邦明 委員 鈴木 まどか 委員 田中 綾 委員 中嶋 正行 委員 森脇 晃子 委員 和嶋 啓子 委員 以上9名（定数12名） ----- 2 警察署員 豊田署長 日名地副署長 畔柳警務課長 福井会計課長 山田地域課長 坪井刑事課長 奥田交通課長 山原警備課長 鳥居生安課長代理 以上9名 ----- 3 有識者等 なし
諮 問 事 項 等	特殊詐欺被害の抑止対策 ～固定電話対策の効果的推進～ について
答 申 等 の 概 要	1 防犯キャンペーンや地域会合等の場で、犯行手口の実演等を交えた広報活動の推進 2 無償で導入できる対策や優良防犯電話等の有用性に関する情報提供 3 各種店舗への働きかけなどによる優良防犯電話等の普及活動の推進
そ の 他	次回開催予定 令和6年5月下旬

会議の経過及び発言の要旨	
1	署長挨拶
2	会長及び副会長の選出等
	委員の互選により堀田委員を会長に選出し、堀田会長は河原委員を副会長に指名した。
3	会長挨拶
4	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長代理説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
5	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（警務課長説明）
	(1) 諮問事項
	効果的な警察広報活動の推進
	～必要な情報を幅広い世代に届け、防犯・交通安全意識の向上に繋げるには～
	(2) 答申事項
	ア 若者が関心を持つような人材を起用したイベントの開催
	イ SNSを活用した広報活動
	(3) 推進方策
	ア 答申事項アについて
	アイドルグループメンバーを一日警察署長に委嘱して、110番の適正利用に関する広報活動を行い、会場には200人を超える観客が集まり幅広い世代に広報を行った。
	イ 答申事項イについて
	(ア) 自転車利用者に対する交通安全広報
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
<p>自転車利用者には交通指導をするだけでなく、適正にヘルメットを着用している写真をSNSにアップして、幅広い世代に広報を行った。</p>			
(1) 人の集まる場所での広報活動			
<p>祭事開催時や鉄道駅、主要交差点等において各種広報活動を行った。</p>			
<p>節分祭には、毎年多くの人を訪れるため、犯罪や交通事故に遭わないための広報を行い、その様子をSNSにアップして広報を行った。</p>			
6 諮問			
(1) 諮問事項			
<p>特殊詐欺被害の抑止対策</p>			
<p>～ 固定電話対策の効果的推進～</p>			
<p>について</p>			
(2) 諮問事項の設定理由（生活安全課長代理説明）			
<p>令和5年中の特殊詐欺被害は、件数及び金額ともに前年から増加しており、本年に入っても被害に歯止めがかからず増加傾向にある。</p>			
<p>被害の多くは高齢者で、犯人グループから自宅固定電話への着信がきっかけであることから、固定電話対策が重要である。</p>			
7 協議			
委員	<p>・ 高齢者は携帯電話を持つより、昔ながらの固定電話にこだわる者が多いため、詐欺の被害に遭わないように固定電話の対策が必要である。</p>		
委員	<p>・ 固定電話のできる被害防止対策は、非常に良い対策であると思う</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
が固定電話の付加機器にかかる申請を高齢者が一人で行うことは、	
難しいので家族等の支援が必要である。	
委員	・ 家庭にある固定電話機に、詐欺防止のステッカーなどを貼るよう
	にすれば、電話に出る前に目に留まることから、被害の防止につな
	がると思う。
委員	・ 固定電話に録音されている旨のアナウンス機能がついていれば、
	詐欺被害が減少するかもしれないが、そのような電話機を購入する
	補助金の申請や手続の簡略化ができれば、より多く普及すると思う。
委員	・ 高齢者は大人が詐欺被害防止について話しても、なかなか聞いて
	もらえないので、孫世代の子供から詐欺被害防止の話を伝えてもら
	ったり、子供が作成したチラシや手紙などを手渡してもらったりし
	て、高齢者に注意を呼び掛けると聞き入れやすいと思う。
委員	・ 子供に対して、小学生くらいから闇バイトなどの特殊詐欺の加害
	者にならないように犯罪の怖さなどの指導教養をしてほしい。
委員	・ 各種イベントなど的高齢者の集まる場所において、警察から詐欺
	被害防止のために必要な広報活動を行ってほしい。
委員	・ テレビ電話のように、相手の顔を見て話ができれば詐欺被害が減
	ると思うが、現実的には難しいので留守番電話機能等を利用して対
	策することがのぞましいと思う。
委員	・ 高齢者は詐欺被害の手口等を知っているものの、「自分は大丈夫
	夫」と思っている高齢者が詐欺被害に遭っていることから、繰り返
	し広報活動をするしかないと思う。
	記録者
	警務係長

